

銀漢亭日録



伊藤伊那男

11月22日(木)▼広渡敬雄氏の九大時代の仲間四人。小島健さん、私の作るちりめん山椒、奥様好みと。

23日(金)▼勤労感謝の日。あまりの好天に昼から机に向かうのをやめて散歩に。十八時から、吉祥寺で杏一家と食事することになっており、それまで小さな旅。銀杏並木を通して成城学園キャンパス。孫龍正君のサッカーの練習を少し見る。新宿で来月の京都市行き切符購入。ブックオフで日本地図他買う。吉祥寺に出て街を歩く。大学三、四年生の頃、南町に住んでいたが、その建物まだ現役。五階建てマンションで、当時は珍しい高さであった。四階の部屋の前に立つてみる。懐旧にふけるのは年のせい。富士見ヶ丘時代も家族でよく食事した街にて、思い出を捜して歩く。公園前の「いせや」は建物は新しくなったがほぼ同じ形をとどめ、もうもうと焼き鳥の煙をあげている。かつらのおばちゃんが今もいて、何十年も前から変わらない。杏一家(五人)と「李朝園」の焼き肉の食事。昔、家族でよく来た店。あと「和民」でもう少し飲む。

24日(土)▼「あ・ん・ど・うクリニック」、あと薬局。買い出しして店に納める。日本橋の喫茶店にて作句。十四時、「鰯の与志喜」にて「鰯句会」。九人と少ない。題の鰯の刺身が絶品。蕪蒸し、鰯の照り焼き、握り。酒は「浦霞」。アメ横から信州の従兄弟に数の子、するめなど送る。「吉池」にて店のもの大量に買い店に納める。渋谷で小酌。

25日(日)▼選句など。十六時半、亀戸「すし屋の弥助」、水内慶太氏の招待。鈴木忍一家、甲土三郎、天野小石、太田うさぎ、小野寺

2日(日)▼「春耕同人句会」。三ヶ月振り。あと忘年会。そのあと、十二人ほどでもう一軒。二十一時に戻ってNHKの山一証券倒産劇のテレビ見る。

3日(月)▼十一月の月次表作成など。店、皆川文弘さん久々。榎未知子さん。「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十二人。

4日(火)▼坂口晴子同人、福岡の岩瀬さん、明日、新潟県村上市へ吟行するため上京と、寄って下さる。

5日(水)▼ヘアメイクの中川さん来宅。短めにカットしてもらう。店、半年振り位か、国会議員のT先生。「きさらぎ句会」あと五人。「宙句会」あと十六人で忘年会。オリックス金融会社時代共に一緒だった山田雄嗣さん、大阪から。

6日(木)▼「十六夜句会」あと十一人。「三田俳句丘の会」総会あとの武田編集長、福神規子(若葉)、遠藤由樹子(未来図)、飛鳥蘭、池田のりを、坪井研治さん他。屋内松山さん、山田真砂年

7日(金)▼店、春耕同人会長・池内けい吾、事務局長・袖口満さん来店。皆川家に年末のご挨拶あとと。「大倉句会」あと二十数名。賑やか。

8日(土)▼十時、発行所にて運営委員会。午後、湯島の「全国家電会館」にて「銀漢本部句会」五十五名位。あと、「はなの舞」にて忘年会。三十五名ほど。疲れあり早々に帰る。

9日(日)▼六時起き、エッセイなどいくつかなす。十二時前、みなとみらい駅構内のドトールでエッセイなど。十三時半前、なかなか仲間が来ないので連絡取ると待ち合わせ場所は隣の馬車道駅と。あわてて一駅。恒例の横浜忘年会。二十五名ほど。赤レンガ倉庫のクリスマスマーケット、象の鼻パーク、山下公園、氷川丸見学のあと中華街「梅蘭酒家」にて三句出し句会と宴会。

清人。蟹をはじめとして、河豚鍋まで盛りだくさんの馳走。あと錦糸町の昭和の匂いぶんぶんたる「パブいい友」で歌。

27日(火)▼ひまわり館の「萩句会」選句。戻ると、「北軽井沢句会」の佐々木終吉さんが見えていて、「銀漢」ホームページ作成のため、銀漢亭の写真撮影。今年も見事な手作りのクリスマスリースを戴く。店、「ひまわり句会」あと八人。

28日(水)▼「雛句会」十二人。「麦」会長の対馬康子さん、「櫟」の種谷さん、大塚凱君。

30日(金)▼十六時半、竹内洋平同人(元々「炎環」同人だが、伊那谷の縁で「銀漢」にも参加して下さっている)五人。その内三人の方が「銀漢亭こぼれ噺」を買って下さる。十九時から、「アルパカゴロゴロ会」(太田うさぎ、天野小石さん五十六歳の誕生日を祝う会)、二十五名ほどが参加し、三句出し句会、あとは飲み会。結局、酒飲みがただ集まった感じ。「俳句あるふあ」の中島三紀編集長来店。私の料理のグラビアページ「一句一菜」を来年も継続したいと。嬉しいこと。二十一時から、「金星句会」あとの六名。

12月1日(土)▼十一時、鎌倉。快晴。比企谷妙本寺見て、駅にて「鎌倉句会」の堀英一、中野堯司さんと待ち合わせ。かまぼこ店二階にて昼食をいただく。十三時、鎌倉生涯学習センターにて句会。十二人。あと俳話一時間ほど。あと全員で鎌倉駅二階の和食店にて親睦会。伊藤やすをさんの案内で駅近くの丸七商店街中の立ち飲み店。駅近くにこんな時代錯誤のような飲食街があったとは！二十四時前帰宅。鈴木木でる緒さんより連絡あり、ヨークシャーテリアのパニラ(私の妻の愛犬。成城に引越すにあたり、てる緒さんに養子入り。十七歳)が午後二時半、息を引き取ったと。てる緒さんに可愛がられて幸せであった。感謝！

10日(月)▼藤森壮吉さん「聞句会」七人。オリックス時代の部下、堀尾君他五人。梅田津さん勉強会四人など。「高遠句会」の坂下昭さん、会社のOB会で上京とて、訪ねてきて下さる。迷って四十五分ほど神保町を歩いた様子。有難いこと……。

11日(火)▼「火の会」十一人。発行所二月号編集会議。あと編集部忘年会。秋葉男さんが鮎持参で鰯を握る。上手！

12日(水)▼「梶の葉句会」選句(昼食の忘年会にお誘いいただいたが多忙で参加できず。店、川畑さんと鹿兒島の中学同期生五人。鈴木忍さん、山本潔さん(時事通信社。「花暦」と。阪西敦子さん他句会あとの方々。

13日(木)▼「極句会」あと十二人。秋葉男さんが鮎持ち込み鰯握ってくれる。見事！光汪、井蛙、幸彦さんがヴァウクリコ次々に開けてくれる。

14日(金)▼「金星句会」あと七人。

15日(土)▼「銀漢亭Oh! つごもり句会」。超結社で三十四人。五句出し、あと三句、二句、計十句の句会。皆さん色々な料理、酒など持ち寄って下さる。幹事の朽木直さんの綿密な呼びかけと手順の良さに感謝。あと十人ほどで「ふくの鳥」。

16日(日)▼やや二日酔い。礼状、年末の旅の準備など雑用。十六時、成城仲間二家族来宅。私が料理番。来宅の一家族が水産業社長にて車海老、蟹、いくらなど大量の持ち込みあり。海老の豆鼓炒め、天麩羅。蟹鍋あとおじや。いくらとろろ芋。春雨のうま煮など作る。